

## 売上金は在宅福祉基金に

福祉バザー

11月23日、第23回ボランティア福祉バザーが中央公民館で開かれました。町民の皆様から寄附していただいた衣類・日用品・鉢物・野菜など3,092点が市価より安い値段で販売され、会場は大盛況でした。売上金は、74万2,505円で全額町の社会福祉協議会に寄附され、在宅福祉資金として介護用ベット、車いす、一人暮らし老人の給食サービスなどに充てられます。皆様のご協力ありがとうございました。



## 平和の尊さを後生に

戦没者追悼式



町戦没者追悼式が11月11日、中央公民館で遺族をはじめ関係者ら約250人が参列し、しめやかに行われました。この追悼式は、祖国のために若き命を捧げた300余名の町内戦没者に対し、町民を挙げて追悼の誠を表すため、菊薫るこの時期に毎年実施しています。齋藤町長は「二度と悲惨な歴史を繰り返すことのないよう平和の尊さを後生に引き継いでいきたい」と式辞を述べました。

## 生涯学習の関心を高めるために

教育委員会出前講座

教育委員会では11月17日、老人福祉センターで「私の音楽と母ちゃんの思い出」と題して出前講座を開き、約70人が訪れました。この出前講座は、生涯学習への関心を高めることを目的に、東部・中部・西部地区に出向いて行うもので、毎年開かれていきます。今回は、邑楽町の大谷春雄さんを講師に迎え、講演や大谷さんのアコーディオンを伴奏に昔なつかしい曲を合唱するなど、楽しいひとときを過ごしました。



## 楽しい老後を迎えるために

健康マージャン教室



10月21日、社会福祉会館で「和の郷」の野村昭彌さんを講師に招き「健康マージャン教室」を開きました。健康マージャンは手先と脳を使うためボケ防止に役立ち、楽しい老後が迎えられると女性などから人気を呼んでいます。野村さんは「健康マージャンは、お金を賭けない・たばこを吸わない・酒を飲まない・昼間だけという健康的なルールで行いますから、気軽に参加してください」と話していました。